

# 東ヶ丘公園ヤギプロジェクト

様式2



相双建設事務所企画調査課  
主査 嶋原 保志

～ 「あんこ」と「くろみつ」の活動日記 IN 東ヶ丘公園 ～

施工場所: 南相馬市原町区二見町地内(東ヶ丘公園)

## 1. はじめに

- 平成5年年から整備し、北エントランスの整備が完了し令和元年7月8日全面オープン(整備期間27年)。
- 供用面積56.7ha

## 2. 課題と目標

- 1年間の維持管理費のうち1割を除草費が占める。  
>コスト削減を図ることと適切な維持管理のバランス。
- 1日平均来園者数約300人弱。  
>地域住民に東ヶ丘公園の魅力が伝わっていない。

⇒ヤギによる試験除草が、コスト削減と公園のPRに、活用できるか、検証する。

## 3. ヤギの特性

- ヤギは、さびしがり屋なので、2匹以上で行動させる。
- ぬれることを好まない。特に雨は、大っ嫌い。
- 日差しが強く、暑いところも、好まない。
- 高いところから低いところを見渡せる斜面が大好き。
- 紙は食べさせない。薬品を利用しているため、身体に悪い。
- 名前は「あんこ」と「くろみつ」。親子



クローバー  
とか柔らかい草が好き



糞は小さく  
臭いはほとんどない

## 3. 試験内容

- 期間: 令和元年9月24日～10月3日10日間の活動
- 活動箇所: 北エントランスの芝生の範囲

## 4. 試験結果

- 活動日数: 10日間
- 除草面積: 多いときで3～5m<sup>2</sup>/日程度
- 来園者数: ヤギ目的の来園者20～50人/日程度増。
- 地元紙にヤギプロジェクトの活動内容が掲載された。
- 良かった点  
ヤギがいることで、公園への来園者が増えた。  
特に近隣の幼稚園の園児が来園し、楽しんでた。
- 改善点  
ヤギが公園に慣れず、草をあまり食べなかった。  
⇒ 期間を長くし、公園に慣れさせる。  
活動期間が短く、ふれあうことができず残念がる人がいた。  
⇒ 広報や周知方法の見直し。

## 4. おわりに

- ヤギが周辺環境に慣れないまま、試験除草の効果検証をするには、活動期間が短かった。
- 来園者は、増えてはいたが、活動期間の終わりになり、ヤギの存在が認知された。  
毎年のイベントとして、継続が必要である。
- 令和2年度も引き続きヤギプロジェクトを実施し、効果検証を続ける。

